

# 一人ひとりが 考えよう 人権の「こと」

市では昨年、市民のみなさんを対象に、同和問題や男女、子ども、在日外国人などについての人権意識調査を行いました。この特集では、その結果のうち、いくつかをご紹介します。この機会にもう一度、人権のことを考えてみましょう。

また、十一月四日から十日は人権週間です。講演会などさまざまな催しが行われますので、ぜひご参加ください。

市民一、六〇〇人に  
人権について  
伺いました

人権についての市民意識調査は、昨年五月、無作為に抽出した二十歳以上七十歳未満の男女一、六〇〇人を対象に行なわれ、一、三五六人（八四・八％）のみなさんから回答をいただきました。この調査の目的は、市民の人権意識の実態を把握することにより、これまで進めてきた同和教育や人権啓発の取り組みを洗い直し、これからの活動の方向を探り、教育・啓発などの効果的な内容や方法を検討するためのよりどころとすることです。

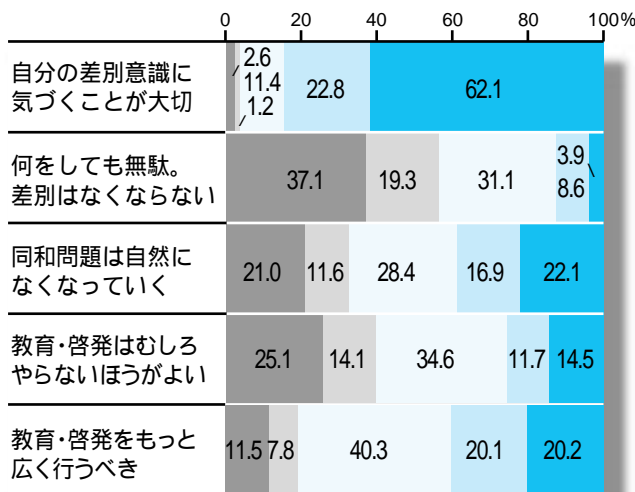
## 同和問題について

自分の差別意識に  
気付くことが大切

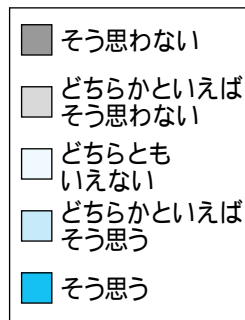
『同和問題に対する意見』では、「自分の差別意識に気付くことが大切」という意見が六〇％を超えています。そして、「何をしても差別はなくなるにたいしては、「どちらかといえば」も含めて過半数が「そう思わない」と答えています。一方、「同和問題は自然になくなる」という意見は、「どちらかといえば」も含めて約四〇％が「そう思う」と答えています。

また、問題解決のカギとなる「教育・啓発」については、「やらない方がよい」に反対の意見がどちらかといえば「も含めて約四〇％になり、こ

同和問題に対する意見

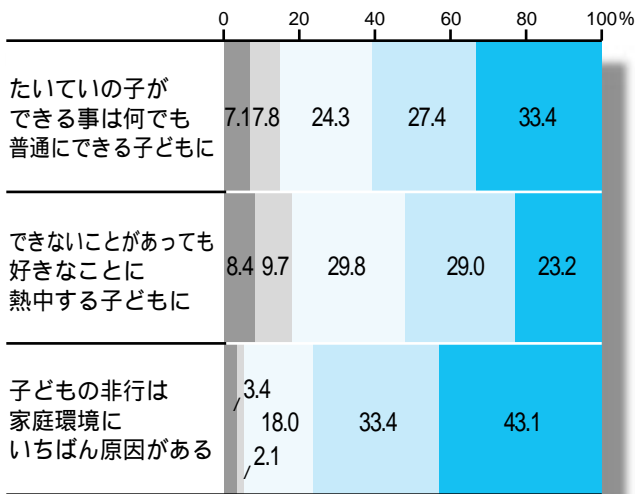


グラフの見方



れは、もっとと広く行うべき」とする意見の割合と重なります。

## 子育て観についての意見



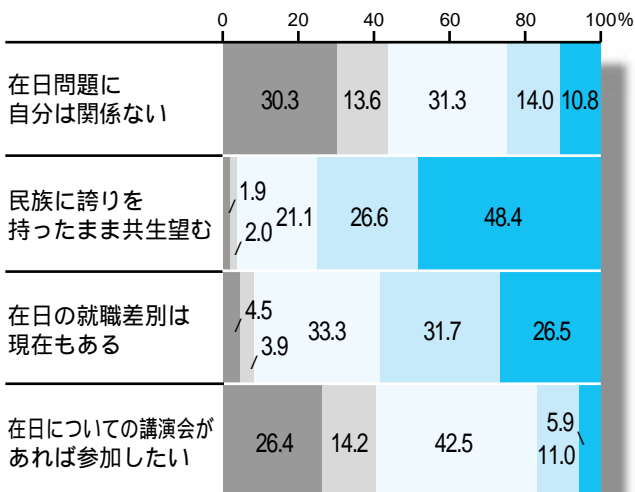
『子育て観についての意見』では、「何でも普通に通いできる子に育てたい」とする人が三〇%を超えており、「好きなことに熱中する子に育てたい」と思う人の二二%を上回りました。

しかし、「どちらかといえば」を含めると、「何でも普通に」の”人並みを望む意見”

## 子育て観について

### 何でも普通にできる子か 一つに熱中する子か

## 在日韓国・朝鮮人問題への意見

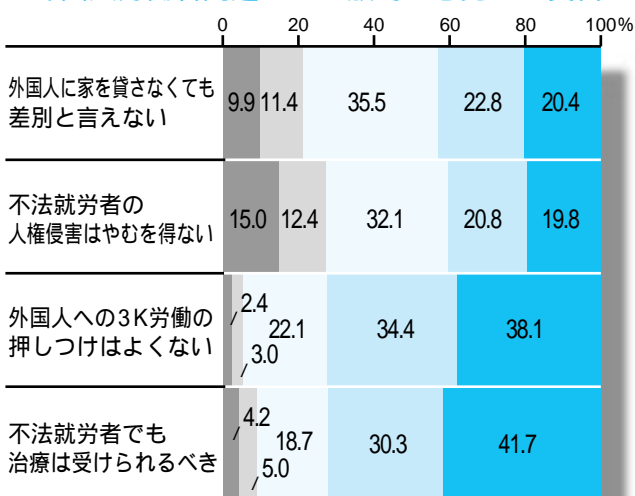


## 在日の外国人について 民族に誇りを持って、共生を

『在日韓国・朝鮮人問題への意見』では、約二五%の人が「自分には関係ない」とする一方で、「そうは思わない」とする意見が半数近くあり、一般に在日韓国・朝鮮人の問題が身近なものになっ

と、「好きなことに熱中」の“個性的”を望む意見がとにも五〇%を超え、市民の子育て観は、両方の間で揺れていると言えます。  
また、子どもの非行の問題については、「家庭環境にいちばん原因がある」という意見が多数を占めています。

## 外国人労働者問題への一般的な意見への賛否



## 不法就労者でも 治療は受けられるべき

『外国人労働者問題への意見』では、四〇%以上の人が「外国人に家を貸さない」ことに肯定的です。また、不法就労者への人権侵害については、約四〇%の人が「やむを得ない」とする一方で、七〇%以上の人が「3K(きつい、汚い、危険)労働の押しつけ」に反対し、「不法就労者でも治療は受けられるべき」という意見を持っており、微妙な違いが見られます。

## 外国人労働者について

「共生を望む」人は七五%で、「就職差別がある」という意見も約六〇%ある反面、「在日韓国・朝鮮人問題に関する講演会があれば参加したい」と思う人は約二〇%にとどまっています。

次ページに続く

# 講演会や研修会などに 参加した人ほど人権に理解

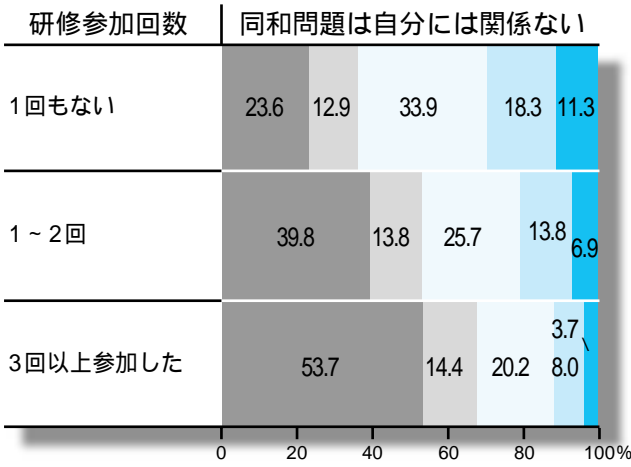
差別や人権侵害を無くし、すべての市民が人として尊重される、明るく住みよいまちづくりを進めるためには、私たち一人ひとりが、普段の生活の中で常に差別や人権侵害に気付くことが大切です。そのためには、差別や人権に関する研修会などの催しに積極的に参加し、できるだけ多くのことを知ることが必要です。

左のグラフは、同和問題についての研修会への参加回数と問題意識の変化をまとめたもので、参加の回数が多いほど同和問題

への理解が深まることが分かります。

十二月四日から十日は人権週間です。市でも多くの催しが開催されますので、人権問題を身近なものとして考える機会として、人権週間の催しに積極的に参加しましょう。

同和問題についての「研修参加回数」と「自分には関係ない」という意識との関係



## DV(家庭内暴力)について

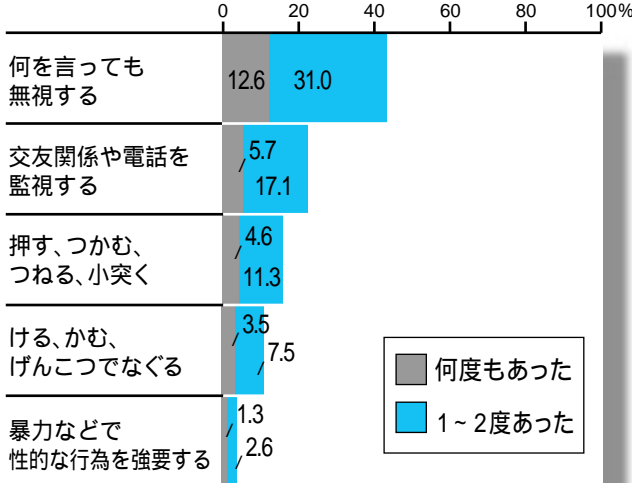
見逃せない  
女性への暴力

近年、家庭内暴力(ドメスティックバイオレンスDV)が、大きく社会問題として取り上げられるようになってきました。

今回の調査で、女性のみを対象にDVの実態を調べたところ、「無視」については、何度もが約十三%で、「一～二度」を合わせると四〇%以上の女性が夫や恋人から無視されていることがわかりました。

また、「監視」は、「何度も」と「一～二度」を合わせて二三%になります。「小突く」「なぐる」などの行為は、それぞれ四%前後の女性が何度も受け、また、「性的強要」は四%の女性が受けている実態が明らかになりました。

家庭内暴力の実態



## 女性への暴力ホットラインを開設

夫や恋人など、親しい人から女性が受ける暴力(ドメスティック・バイオレンス)が最近、増加しています。一人でも多くの女性がドメスティック・バイオレンスから解放され、女性としての人権を回復するため、

ホットライン(☎56-0783)

を臨時に開設し、相談を受け付けます。一人で悩まずに、気軽にお電話をください。相談についての費用は無料で、秘密は厳守します。

開設日時 / 12月8日(金)・9日(土)

午前10時～午後4時

問い合わせ / 女性センター(☎54-8331)

## 人権を考える

よっかいち人権ウィーク2000の催し

12月4日(月)・6日(水)

### 『特別人権相談所の開設』

人権擁護委員が相談(無料)に応じます。  
 秘密は固く守られます  
 場所/市役所1階市民相談室  
 時間/午前9時~正午・午後1時~4時

12月7日(木)~11日(月)

### 『人権のひろば展2000』

場所/文化会館第4ホール、博物館  
 時間/7日...午後1時~5時、8日~10日...午前10時~  
 午後5時、11日...午前10時~午後3時

12月7日(木)

### 『子どもの権利を考える講演会』

テーマ/子どもは大人のパートナー  
 講師/弁護士 坪井節子さん  
 場所/文化会館第2ホール  
 時間/午後1時30分~



坪井 節子さん

12月8日(金)

### 『人権・同和問題企業啓発講座』

講師/カネボウ物流(株) 田中昭紘さん  
 場所/文化会館第3ホール  
 時間/午後1時30分~

12月9日(土)

### 『人権を考える月間講演会』

テーマ/身近な差別を見つめて  
 講師/作家 若一光司さん  
 場所/文化会館第1ホール  
 時間/午後2時~



若一 光司さん

12月10日(日)

### 『地域人権リーダー養成講座』

講師/大阪市立住吉人権文化センター  
 白井俊一さん  
 場所/文化会館第3ホール  
 時間/午前10時~

十二月十日は、国連が定めた「世界人権デー」です。また日本では、十二月四日から十日を「人権週間」とし、人権尊重思想を広げ、高めるための啓発活動が全国で展開されています。

市ではこの人権週間を「よっかいち人権ウィーク2000」として、「人権のひろば展2000」や「子どもの権利を考える講演会」、「人権を考える月間講演会」など、人権を見て、知って、考えるためのさまざまな催しを開催します。ぜひ参加して、人権への理解を深めましょう。

12月4日~10日「よっかいち人権ウィーク2000」

# 人権週間

の催しに  
 参加しましょう

## 差別落書きを

なくそう!

気付いたら放置しないで連絡を

ある特定の個人をひぼう中傷するために、同和地区や在日の韓国・朝鮮の人などへの差別表現を用いた落書きが、市内の電話ボックスや公衆トイレの壁面などで多数発見されています。

差別落書きは、言葉を用いて一方的に人を差別する行為です。そして、社会に潜む差別意識や偏見をかき立て、差別をあり立てようとする行為です。

落書きの差別性に気付かなかつたり、気付いてもそのまま放置したりすることは、差別を許すこととなります。差別落書きを発見したら、まず、紙などで覆ってから連絡しましょう。

### 差別落書きの連絡先

平日

人権啓発センター ☎(五四)八二九三

同和教育室 ☎(五四)八二五四

同和対策課 ☎(五四)八一五六

休日・夜間

市役所直室 ☎(五四)八一七七

インターネット上での差別的な内容を発見した場合もご連絡ください。